

楽只だより

前期学校評価
結果と考察

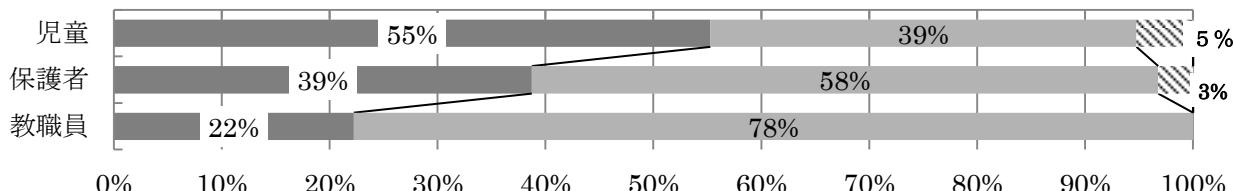
平成28年10月27日発行

京都市立楽只小学校 TEL 451-0044 FAX 441-5028

URL <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/rakushi-s/> e-mail rakushi-s@edu.city.kyoto.jp

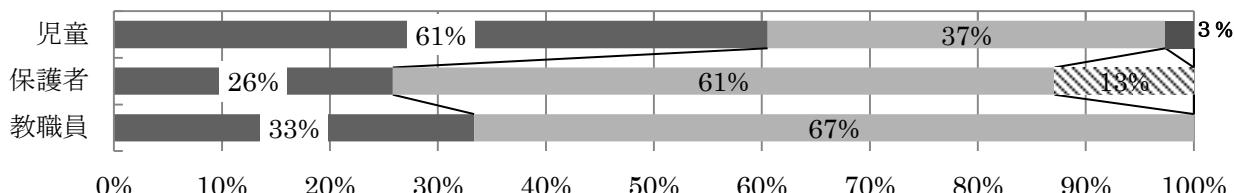
①今、学校は楽しいですか。

■とてもそう思う ■思う ◇あまりそう思わない ■そう思わない



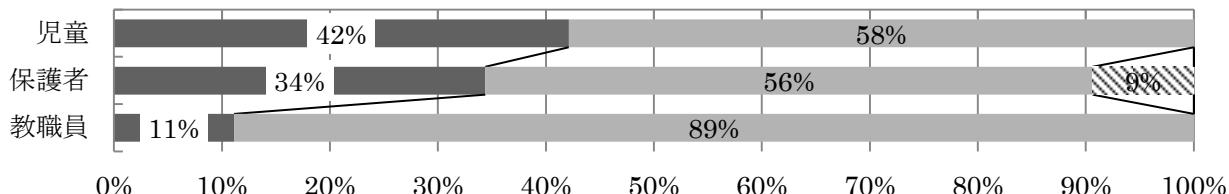
②土曜学習や朝スポーツ、部活動は楽しいですか。

■よく思う ■思う ◇あまり思わない ■まったく思わない



③学校のきまりやルールをきちんと守っていますか。

■よく思う ■思う ◇あまり思わない ■まったく思わない

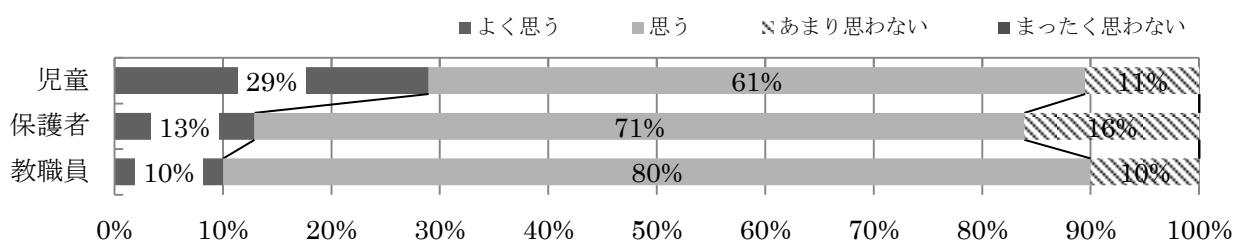


3つの項目において児童、保護者とも「よく思う」「思う」の割合は90%以上となっており、子どもたちは学校のきまりを守って、楽しく学校生活を送っていると思われます。

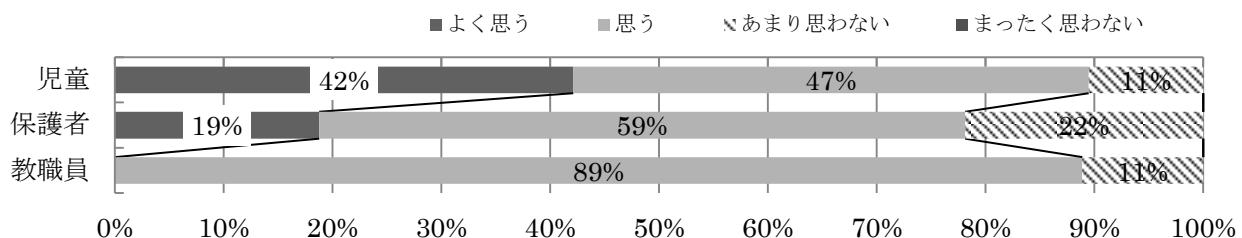
②の項目の保護者の「まったく思わない」が0%となりました。昨年度から引き続き、プリント学習の後半に工作などを取り入れています。また、今年度からは漢字検定にも取り組むことにしました。休日の活動ということもあります、子どもたちの様子が見えにくくもあるので、HP等で活動の様子が伝わるようにしていきたいと思います。そして、今後も基礎・基本の補習時間、普段の授業ではできない体験活動の場として位置付けていきたいと思います。部活動については、児童数が減少する中、少しでも多くの種目を経験できるように、それぞれの部活動の活動曜日を工夫しています。多くの子ども達は二つ以上の部活に所属し活動しています。

「学校のきまりやルールを守る」の項目に関しては、普段の学校生活の中でも、チャイムで行動する姿や清掃活動を熱心に取り組む姿など、素敵な姿をたくさん見かけます。ただ、学校生活以外の場では、きまりやルールを守っていない様子も見られます。今後も学校と保護者が同じ価値観で子どもたちに指導していくように、ご協力よろしくお願いします。

④先生や友だちの話をきちんと聞くことができていますか。



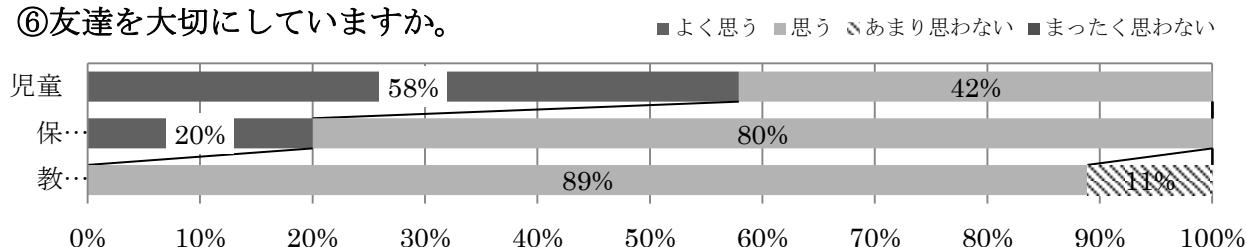
⑤自分の考え方や意見を発表できる



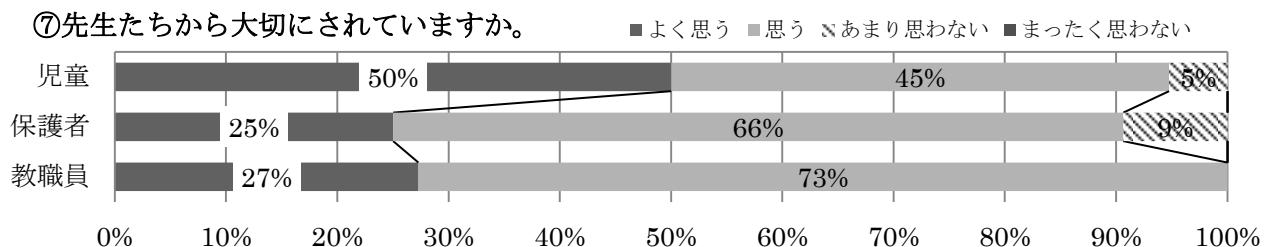
「自分の考え方や意見を発表できる」の児童の「よく思う」が昨年度に比べて高くなっています。毎月行われる朝会やなかよし集会など、全校の前で質問をしたり感想を話したりする機会が増え、子ども達自身がよく発表できていると実感しているのではないかと思います。ただ、「聞く」ことに関しては三者とも「よく思う」が減少し、「まったく思わない」が高くなっています。話す側も相手意識をもって、聞く側も話している内容を考えながらしっかりと聞けるよう国語科の学習を中心に、教職員もより意識して取り組んでいきたいと思います。

今年度も引き続き、子どもたちの言語によるコミュニケーション力を高める取組を進めています。また、お気軽に朝会にもお越しいただき、子どもたちの様子についてご感想をお聞かせください。(朝会の予定は、楽只だよりや学級だよりをご覧ください。)

⑥友達を大切にしていますか。



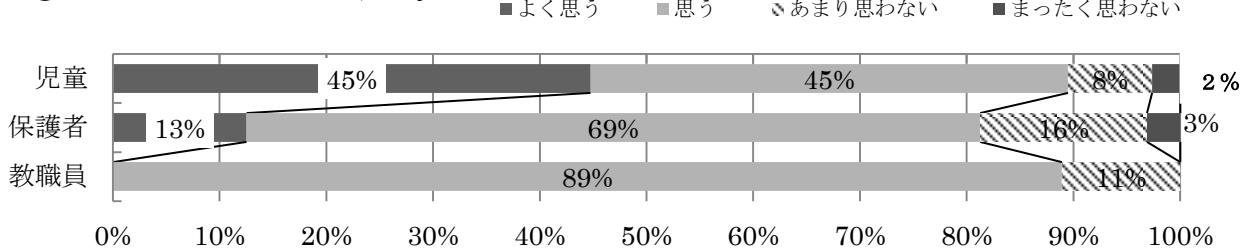
⑦先生たちから大切にされていますか。



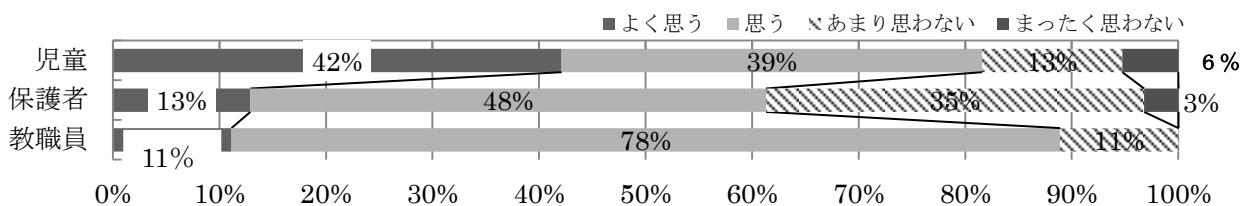
「友だちを大切にしている」の項目については、児童、保護者ともに「よく思う」「思う」の割合が100%になりました。これまでの少人数の良さを生かした縦割り活動や部活動、クラブ活動など、異年齢集団活動の成果が今回の高評価につながっていると考えています。今回の結果に安心せず、学級としてはもちろん、学校として子どもたちをつなぐ取組を引き続き進めていきたいと思います。

「先生たちから大切にされている」の項目に関しては、児童5%（3名）、保護者9%（3家庭）が「あまり思わない」と評価されています。特に低学年の子ども達の中には、休み時間等に担任の先生と遊ぶ機会が多いことで「大切にされている」と感じている子どもも多いようです。普段から教職員全体で一人一人の子どもたちを見守ることはもちろん、アンケート実施後の教育相談「ほっこりトーク」などを通して、個別に子どもたちの思いや願いを聞きとともに、人間関係の把握に努めたいと思います。「子どもたちのよりよい成長を願う」という思いは、家庭も学校も同じです。家庭と学校が同じ願い、同じ視点でつながり、子どもたちの成長について深く話し合えるように懇談会や家庭訪問等を通して努めていきたいと思います。

⑧勉強はよくわかりますか。



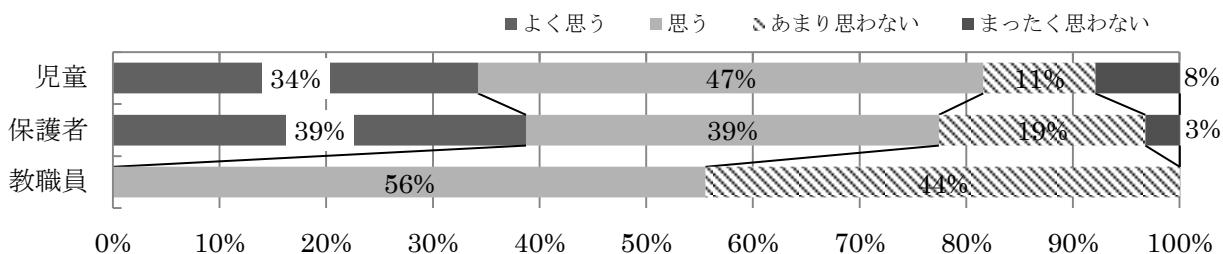
⑨宿題などの勉強をきちんとしていますか。



「勉強はよくわかる」における保護者の評価の割合は、前年度後期の78%から82%と高くなっています。子ども達も概ね学校での授業は理解できていると思われます。ただ、子ども達の「あまり思わない」「まったく思わない」の割合が増えていることが気になります。自信のなさや学習の見通しがちにくい児童がそのように感じていることが日常の学習場面から見られます。主体的な学びを目指して、本年度、学校では国語科を研究教科とし、毎時間の授業のめあてと振り返りの一体化、言語活動の充実、子ども達自身が「〇〇ができるればこの時間はいいんだ。」と能動的に活動が進められるよう重点を置いて行っています。一人一人の子どもたちがわかったと実感のもてる授業づくりをしていくために、ジョイントプログラム等の結果分析から子どもたちの動きを分析するとともに、管理職による日常の教室訪問・指導助言をはじめ、若手教員の指導力向上のための授業研究を引き続き進めていきたいと思います。

「宿題などの勉強をきちんとしている」に関しては、今回のアンケートでは時間の目安として、「学年×10分」という基準を設けてアンケートを行いました。「よく思う・思う」の評価が児童と保護者で20%の差がみられました。確かに子どもたちは宿題をきちんと取り組んでいる様子が見られます。今回の結果からも、保護者の方が家庭で子どもたちの学習の様子を見ていただき、もう少し家庭での学習時間をもってほしいという思いをもたれているのではないかと思われます。繰り返しになりますが、宿題などの家庭学習の取組が学習内容の定着や学力向上につながります。今後も引き続きご協力よろしくお願いします。学校でも取り組んだ課題に対するフィードバックを大切にし、子どもたちのやる気を高めていきたいと思います。

⑪「早寝、早起き、朝ごはん」は守られていますか。



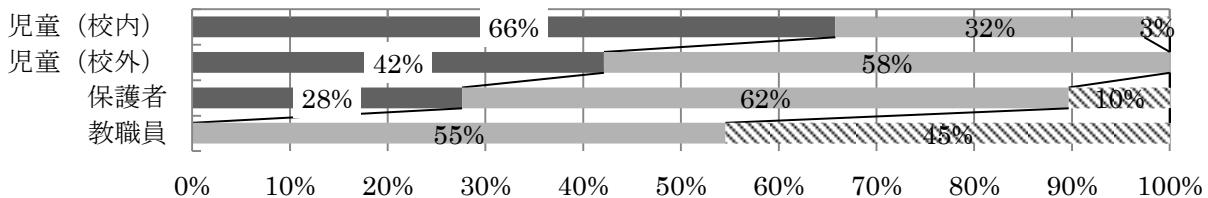
児童・保護者とともに、「思う」「やや思う」の割合が、今回も約80%近くとなり。少しずつ規則正しい生活習慣が定着してきたことをうれしく思っています。しかし、一方で、休日明けの欠席や遅刻が見られます。また、寝不足からか体調がすぐれなかったり、授業に集中できていなかつたりする子どもの姿もあります。

本校では、『サンサンさわやかウィーク（年3回実施）』での生活調べを通して、自分たちの生活習慣を見直し、規則正しい生活の大切さについて考える機会としています。詳細はほんなどり等でお伝えしますが、生活調べを集計する中で、就寝時刻の遅さに課題があることが明らかになってきています。現在、インターネットやスマートフォン、携帯型ゲーム機など、時間を問わずいつでも楽しむことができる魅力的な道具が子どものまわりにたくさんあります。テレビを観ている時間（ゲーム等も含む）の方が家庭学習を行っている時間より上回っている学年も多く見られます。

全国学力・学習状況調査の結果からも、生活習慣と学力との相関関係は明らかになっています。再度、インターネットやスマートフォン等の必要性や利用時間などについて子どもはもちろん、保護者の皆さんとも一緒に考えていきたいと思います。

⑫きちんとあいさつしていますか。

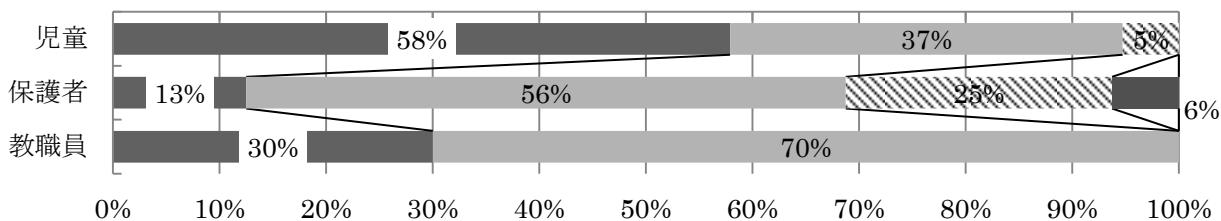
■よく思う ■思う ◎あまり思わない ■まったく思わない



児童の質問項目を「学校の中できちんとあいさつしていますか。」と「学校以外の場所でもきちんとあいさつしていますか。」の2つに分けています。結果は、校内（97.4%）校外（100%）と子どもたちは場所を問わず、概ね挨拶をしているという自己評価でした。保護者の「思う」「やや思う」の割合も前回よりも8%高くなっています。教職員の「思う」「やや思う」の割合も100%と高くなっています。きちんと挨拶はできているので、これからは、「自分から」「元気よく・気持ちよく」という姿がもっと見られるように指導をしていきたいと思います。

⑬自分の健康に気をつけていますか。

■よく思う ■思う ◎あまり思わない ■まったく思わない



児童、保護者、教職員の三者とも昨年度後期とほぼ変わりません。しかし、前回と同様に児童（94.7%）と保護者（68.8%）で25%近い差があることから、体育や「ほけんの日」等で学習したことを家庭で実践している割合は低いようです。また、保護者が「子どもたちが健康に気をつけている」姿をどのように捉えられているのかを懇談会や家庭訪問、学校保健委員会の場などで話合いができればと思います。本校に限らず、健康診断後、医療機関への受診（特に歯科）が高学年になるほど受診率が低くなっています。

引き続きほけんだより等で学校での保健教育の内容や取組の様子を伝えていきますので、健康的な生活の実践の定着へご協力よろしくお願い致します。

学校運営協議会からのご意見（9月28日 実施）

- 小規模という中で、質的なことを大切にしてほしい。
- 小規模の特性を生かした取組（合同学習など）を実践し、その効果や変容を聞かせてほしい。
- アンケートの結果を細かに分析し、個々の子どもたちの持っている力を引き出しやすいという面が楽只小の一つの特色ではないか。
- 地域の見守り隊として、登校時の子ども達の様子を見ている。日により子ども達の様子は違うが、「楽しく行ってきてね。」と送り出している。（挨拶の項目から）
- アンケートに回答していない保護者の声もしっかり聞く必要があるのではないか。